

第9回 看護師(特別支援学校)スキルアップ講習会のご案内

特別支援学校における医療的ケアの課題に関して、法制度化に至るまでの道のりは、多くの方々の熱意と努力によって開かれたひとすじの歴史の道となりました。看護師数も、年々増加しておりますが、安心・安全で信頼感のある医療的ケアの提供のためには、知識・技能等の専門性を高める質の高い研修が必要です。このことに鑑み、下記のスキルアップ講習会を企画いたしました。ご参加のほど、ご案内申し上げます。

- 1 日時 平成27年7月27日(月)～7月28日(火)
- 2 会場 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟 101
最寄駅 小田急線参宮橋(JR新宿駅から2駅) 駅下車 徒歩7分
東京メトロ 千代田線 代々木公園4番出口 徒歩10分
- 3 主催 特別支援学校看護師研修推進協議会
- 4 後援 文部科学省
全国特別支援学校長会
公益社団法人 日本看護協会
- 5 参加費 3000円 (資料代を含む)
- 6 定員 120名 対象は特別支援学校等の看護師等
- 7 内容

7月27日(月) センター棟1階 101

10:30～10:40 あいさつ 特別支援学校看護師研修推進協議会 会長 三室秀雄

10:40～12:00 講演1 「重症心身障害児医療の最前線」

講師 東京都立東部療育センター 診療部長 益山 龍雄

12:00～13:15 (昼食・休憩)

13:15～14:15 看護師の実践報告

三重県立北勢きらら学園

看護師 伊藤 千里

東京都立町田の丘学園

看護師 菊地由紀子

14:15～14:30 休憩

14:30～16:30 講演2 「てんかんの医学的理解と対応」

講師 独立行政法人国立精神・神経医療研究センター病院小児科 須貝 研司

7月28日(火)

9:30～12:00 (午前の部 コース1～3)

【コース1 からだへの支援・演習講座 1】 センター棟401 (定員30名)

～ボディイメージの形成と姿勢づくり～

医療的ケアの必要な子どもの中には、身体の緊張や変形などがある子どもがいます。たんの吸引や経管栄養の際には、姿勢づくりに配慮が必要です。このことについて「自立活動の視点」に立った講義・演習を行います。

講師 東京都立大泉特別支援学校 主幹教諭 猿橋 隆夫

◆服装・持ち物 実技ができる服装、バスタオルを持参ください。

【コース2 医学に関する講座 1】 センター棟409 (定員60名)

～重度障害児の口腔ケア(オーラルケア)について～

口腔ケアは、単に歯磨きをして、う触や歯周病を予防することだけを目的とするのではなく、誤嚥性肺炎等の感染症による全身の影響を予防する目的もあります。本講座では、口腔ケアの基礎・基本を学びます。

講師 日本歯科大学口腔リハビリテーションセンター多摩クリニック 田村 文誉

【コース3 学校生活の支援講座 1】 センター棟513 (定員40名)

～指導看護師の役割と実地研修のポイント～

「社会福祉士及び介護福祉士法」の一部改正に伴い、法制度上教員によるたんの吸引等が可能になりました。その中で、実地研修については、指名された看護師による指導も行うようになってきています。本講座では、法制度等を理解し、研修に当たって、指導看護師の指導上の工夫やポイント等について、学びます。

講師 NPO法人地域ケアさぼーと研究所 理事 下川 和洋 看護師 齊籐 秀子

12:00～13:00 (昼食・休憩)
13:00～16:00 (午後部 コース4～6)

【コース4 からだへの支援・演習講座 2】 センター棟401 (定員30名)
～重度障害児の円滑な排痰の具体的支援(呼吸肺理学療法～)

呼吸障害に関する知識を高め、排痰を円滑にするための支援についての技能を高めます。今年度は、これまでの演習を基礎・基本にし、グレードアップした講座内容を設定しています。

講師 横浜療育医療センター 理学療法士 花井 丈夫
講師 心身障害児総合医療療育センター 理学療法士 直井富美子

◆服装・持ち物 実技ができる服装、バスタオルを持参ください。

【コース5 医学に関する講座 2】 センター棟409 (定員60名)
～経管栄養に関する事例検討～

経管栄養に関する事例を取り上げ、その対応等について、講師の方から講義をしていただきます。「経管栄養の対応上困難な事例・困った事例」「工夫してうまくいった事例」「課題のある事例」等々、直面している課題を、参加者の方から事前に提供していただきます。課題について、事務局にお寄せ下さい。

講師 社会福祉法人慈恵療育会 相模原療育園 施設長 細田のぞみ

【コース6 学校生活の支援講座 2】 センター棟513 (定員40名)
～重度障害児のコミュニケーション支援～

病気や障害のある児童生徒は、家庭や学校生活では患者でも患児でもなく、学習する子どもです。学校において子どもの気持ちに寄り添う看護を提供しようとする時、子どもたちとのコミュニケーションは重要です。重度障害児とのコミュニケーションにおける配慮や技法について理解と技能を深めます。

講師 女子栄養大学 非常勤講師 下川 和洋

8 申込み方法

(1) はがき(往復はがき)又はメールで、下記に申し込んでください。2日間の参加が原則です。

(2) 記載事項

①氏名 ②所属 ③連絡先住所 ④電話(自宅又は所属先)

⑤第2日目の午前部のコース(コース1～3) ⑥第2日目の午後部のコース(コース4～6)

※往復はがきの場合は、「返信」面に、ご自身の住所・氏名を書いてください。

(3) 研修内容の充実のためお願い

①第1日目の講演「重症心身障害児医療の最前線」、「てんかんの医学的理解と対応」に関して、聞きたいことや悩んでいること等を前もって伺いたいという講師の先生のご要望がありますので、お寄せください。

②第2日目の【コース5 医学に関する講座2～経管栄養に関する事例検討】に参加し、事例を提供して下さる方は、その旨お申し出下さい。後日事例の書き方の形式等をお送りします。

(3) 締め切り 申し込みの締め切りは、7月20日(月)です。 4月10日(金)以降に受付ます。

(4) 宛先

①はがきの場合 187-0032 東京都小平市小川町2丁目1915 コーポ希林館103号室 下川 和洋

②メールの場合 ccsupport@jcom.home.ne.jp 下川 和洋 (題名に「看護師講習会参加申込み」と記入)

9 参加費の振り込み

参加費は、下記の三菱東京UFJ銀行の口座に、振り込んで下さい。振り込みの際には、名前を明記して下さい。振込期限は、7月20日(月)です。

三菱東京UFJ銀行 成城学園前支店 (店番647) 普通 0044394 特別支援学校看護師研修推進協議会会長 三室秀雄 (ミムロ ヒデオ)

【問合わせ先】 飯野 順子 メールアドレス NBK10659@nifty.com
下川 和洋 メールアドレス ccsupport@jcom.home.ne.jp